

茨城県立小瀬高等学校

現代文化研究部(弁論部門) ~自分は何を伝えたいのか! という軸を持つ~

2016年より弁論に取りかかり、現在の部員は男子1名(1年生)、女子3名(1年生2名、2年生1名)の4名。生徒同士は学年に関係なく意見を出し合い、切磋琢磨を続ける。顧問との一対一での練習を通して着実に力を伸ばしていける環境にある。また、本校は小規模校であるので、全国大会出場が決まった際は、校長を含むほとんどの教職員に練習を見ていただくなど、学校全体がチームとなって指導にあたるのも特長。

普段は「発声練習」「原稿の指導」「弁論の練習」が活動の中心で、部員や顧問との対話を通し、原稿の内容を深めている。上辺だけのパフォーマンスにならず、「自分は何を伝えたいのか」という軸をしっかりと伝えられるよう、表現方法を追求している。

先輩が後輩の面倒をよく見ており、後輩の良いロールモデルとなっている。



地方の山間小規模校から
“全国の頂点”という夢を目指す!

顧問
宮本 夏海先生

小規模な部活ですが、課題を放置せず、皆で協力して解

決していく姿勢が良い点です。弁論を通じて社会に目を向け、自分を見つめ直す機会が得られ、さらに、言語化することでよりその事柄に向き合うことができる点が魅力だと思います。今後は、表現の幅を広げるために全国の高校生との交流を通して視野を広げ、多面的・多角的なものを見方ができる人間に成長してほしいと考えています。弁論=主張ではなく、人の意見を受け入れられる人間になってもらいたいです。そして全国の頂点を目指しましょう。



当面の目標は、
全国大会でベスト3に入ること!

2年 部長
鈴木 蓮さん

楽しく笑顔で部活動を行っていますが、大会前には皆真剣な意見交換が交わされます。部員は個性豊かで、お互い刺激を与え、また受けつつ、切磋琢磨しています。普段は感情表現の仕方や口の動かし方を重視しながら、先生からは言葉の発音や強弱、さらに顔の表情などの指導をいただきます。興味・関心の強い事柄について深く考え、自分の意見として多くの人に発信できる点が楽しいです。発声などの基礎練習を怠らず、お互いの弁論の批評を積極的に行うことで、部員全員のスキルアップを目指します。まずは全国ベスト3!



活動目標

●全国大会上位入賞!

■主な成績

- ・参議院 70周年記念論文 佳作 (1874 作品中)
- ・第 71 回全国高等学校弁論大会 全国4位
- ・2017 年全国高等学校総合文化祭弁論部門出場
- ・第 42 回茨城県高等学校春季弁論大会 県 2 位
- ・第 43 回茨城県高等学校秋季弁論大会 県 5 位